



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アーネストワン
コード番号 8895 URL <http://www.arnest1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西河 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 社長室長

(氏名) 岡田 慶太

TEL 042-461-6288

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	34,032	16.1	4,305	9.8	4,335	9.9	2,535	9.4
23年3月期第1四半期	29,319	△12.5	3,921	4.3	3,946	4.6	2,317	△38.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	38.60	—
23年3月期第1四半期	35.30	35.29

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	82,646	—	50,636	—	—	61.3
23年3月期	80,333	—	50,400	—	—	62.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 50,636百万円 23年3月期 50,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	5.00	—	35.00	40.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	35.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,700	16.5	8,400	△6.0	8,350	△7.0	4,900	△7.3	74.60
通期	176,400	9.7	20,600	△3.5	20,500	△4.1	12,100	△3.7	184.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「2. (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	65,688,000 株	23年3月期	65,688,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	679 株	23年3月期	679 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	65,687,321 株	23年3月期1Q	65,653,339 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】2ページ「1. (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1 四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、企業の生産活動に停滞が生じたほか、厳しい雇用情勢が続く等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当不動産業界におきましては、新設住宅着工戸数に持ち直しの動きがみられ、また先行きについても被災住宅の再建等から住宅需要の増加が期待されますが、低価格物件を中心に他社との競争は依然として厳しい状況にあります。

このような情勢のなか、当社は、ひとりでも多くの人々に住宅を持ってもらいたいという信念のもと、徹底した原価管理と品質の向上に努め、良質な戸建分譲住宅及び分譲マンションを低価格で供給してまいりました。

業績につきましては、戸建分譲事業及びマンション分譲事業において引渡数が増加したこと等により、売上高及び利益が前年同期を上回りました。なお、引渡数は戸建分譲事業が1,289棟（建売分譲1,237棟、土地売分譲52区画）、マンション分譲事業が105戸となっております。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は340億32百万円（前年同期比16.1%増）となりました。営業利益は43億5百万円（同9.8%増）、経常利益は43億35百万円（同9.9%増）、四半期純利益は25億35百万円（同9.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①戸建分譲事業

建売分譲におきましては、販売単価は低下したものの販売棟数が増加したこと等により、売上高は295億70百万円（前年同期比9.9%増）となりました。また、土地売分譲の売上高は11億96百万円（同25.0%増）、請負工事の売上高は93百万円（同71.5%減）となりました。結果として、戸建分譲事業全体の売上高は308億59百万円（同9.5%増）、税引前四半期純利益は37億49百万円（同6.5%減）となりました。

②マンション分譲事業

マンション分譲事業におきましては、販売単価の上昇と販売戸数の増加等により、売上高は31億72百万円（前年同期比179.5%増）、税引前四半期純利益は5億42百万円（前年同期は税引前四半期純損失85百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は826億46百万円（前年度末比2.9%増）、負債は320億9百万円（同6.9%増）となっております。総資産増加の主な要因は、販売用不動産の仕入を積極的に行ったことにより、たな卸資産が増加したことによるものであります。負債増加の主な要因は、販売用不動産の仕入に伴うプロジェクト資金の調達による有利子負債の増加によるものであります。また、純資産増加の主な要因は、四半期純利益の獲得によるものであります。

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前年度末に比べ74億40百万円減少し、162億99百万円となりました。

当第1四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は111億円（前年同期比74.2%増）となりました。これは主に、税引前四半期純利益を43億18百万円獲得したものの、たな卸資産の増加額が86億82百万円及び法人税等の支出が52億78百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億2百万円（前年同期は投資活動の結果得られた資金4億31百万円）となりました。これは主に、有形固定資産取得のため71百万円を支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は37億62百万円（前年同期は財務活動の結果使用した資金17億77百万円）となりました。これは主に、短期借入金の純増額が59億88百万円あったものの、配当金の支出が22億25百万円であったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、現時点では、平成23年5月13日公表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

四半期会計期間に係る法人税等については、四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（累計期間）に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,740	16,299
販売用不動産	8,574	13,016
仕掛販売用不動産	36,848	40,761
未成工事支出金	2,856	3,195
貯蔵品	8	19
前渡金	1,648	2,449
その他	2,159	2,376
流動資産合計	75,836	78,118
固定資産		
有形固定資産	3,204	3,230
無形固定資産	66	61
投資その他の資産	1,226	1,236
固定資産合計	4,496	4,527
資産合計	80,333	82,646
負債の部		
流動負債		
支払手形	3,164	4,374
工事未払金	10,792	9,021
短期借入金	5,133	11,121
1年内返済予定の長期借入金	819	1,895
1年内償還予定の社債	500	500
未払法人税等	5,359	1,817
前受金	862	1,132
賞与引当金	442	562
役員賞与引当金	119	129
その他	1,202	978
流動負債合計	28,396	31,531
固定負債		
長期借入金	1,076	—
退職給付引当金	424	441
資産除去債務	4	4
その他	31	31
固定負債合計	1,536	477
負債合計	29,932	32,009

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,269	4,269
資本剰余金	3,167	3,167
利益剰余金	42,964	43,200
自己株式	△0	△0
株主資本合計	50,400	50,636
純資産合計	50,400	50,636
負債純資産合計	80,333	82,646

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	29,319	34,032
売上原価	23,312	27,225
売上総利益	6,006	6,807
販売費及び一般管理費	2,085	2,501
営業利益	3,921	4,305
営業外収益		
受取賃貸料	25	30
その他	31	39
営業外収益合計	56	70
営業外費用		
支払利息	27	37
その他	4	2
営業外費用合計	31	40
経常利益	3,946	4,335
特別損失		
固定資産除却損	—	4
災害による損失	—	11
特別損失合計	—	16
税引前四半期純利益	3,946	4,318
法人税等	1,628	1,783
四半期純利益	2,317	2,535

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,946	4,318
減価償却費	23	24
引当金の増減額 (△は減少)	129	147
受取利息及び受取配当金	△4	△7
支払利息	27	37
固定資産除売却損益 (△は益)	—	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△84	54
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,756	△8,682
前渡金の増減額 (△は増加)	△420	△801
差入保証金の増減額 (△は増加)	△223	△6
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△302	△180
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,462	△560
前受金の増減額 (△は減少)	213	269
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△49	△298
未払又は未収消費税等の増減額	△302	△38
その他	△71	△51
小計	△4,335	△5,770
利息及び配当金の受取額	4	7
利息の支払額	△4	△58
法人税等の支払額	△2,036	△5,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,372	△11,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△52	△71
その他	△15	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	431	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△497	5,988
長期借入れによる収入	263	—
株式の発行による収入	14	—
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,557	△2,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,777	3,762
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,717	△7,440
現金及び現金同等物の期首残高	24,211	23,740
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,493	16,299

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。